# 新村橋上部工 工事だより

2026年 7月 Vol.1

夏の日差しが眩しく降り注ぐ季節となりました。日差しは想像以上に強く、作業員一同その暑さに驚いているところです。美しい大自然が広がる上高地で、いよいよ今月より橋梁工事に着手いたしました。上高地の豊かな自然環境に配慮しながら、安全第一で丁寧に作業を進めてまいります。工事期間中はご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 現場作業の様子

工事着手前の写真です。上流側から撮影しているため、左側がA1橋台、右側がA2橋台となります。新村橋はアーチ橋と呼ばれる構造の橋です。アーチ部材が荷重を受け持つ構造のため、長いスパンの橋を架けることができます。長いスパンの橋を架けることで河川内に橋脚を設置する必要がなく、河川の流れを妨げることなく自然環境に配慮した橋梁形式となっています。

橋の架設は、両橋台の背面に鉄塔を建て、鉄塔間にケーブルクレーンを設置して行います。橋梁業界でも採用事例の少ない、大変珍しい架設工法となります。










今月は主に、作業ヤードの整備を行いました。左の写真は、左岸側の遊歩道横の立木を伐採している状況です。鉄塔設備が倒れないようにするため、鉄塔背面にコンクリートブロックを設置し、コンクリートブロックと鉄塔設備をワイヤーで結びます。コンクリートブロックを設置する前段階として、まずは立木の伐採を行いました。伐採後は、バックホウを使用して整地していきます。

8月からは、コンクリートブロックを設置するために地山を掘削し、型枠や鉄筋の設置、コンクリートの打設を行います。登山者が多く往来するポイントとなりますので、第三者災害に十分配慮しながら、安全第一で作業を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

【工事に関するご意見・お問い合わせ】

令和6年度上高地新村橋上部工工事
JFE・ヤマウラ特定工事建設共同企業体

〒390-1401
長野県松本市波田3094-2
電話：0263-31-5238

現場代理人　栗田